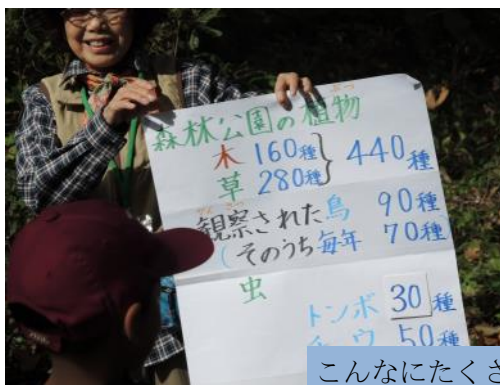


自然の宝物見つけ隊

開催日：10月15日 天気：曇り

参加人数：5人

講師：浅沼晟吾氏 浅沼洋子氏



こんなにたくさん！



葉の表と裏は同じかな？

柔らかい秋の日差しが気持ちよい日です。今回は浅沼晟吾、浅沼洋子両氏の案内で森に入りました。

森林公園にはたくさんの植物や鳥、虫が生きているのをおしえてもらいました。その森できょうはどんな出会いがあるのでしょうか？

「今日のいちばん」をさがして参加者全員ウォッチングビンゴカードを持って出発です。

森を少し進むと、つぎつぎと違う木の実が現れます。赤い実だけでも、カンボク、ガマズミ、ミヤマガマズミ、ウラジロノキ、カマツカ、ナナカマドとたくさん見られました。本当に秋ならではの楽しみです。食べても大丈夫な実を教えてもらって、味見してみました。おいしかったのはウラジロノキの赤い実で、野性的なリンゴの味でした。



カンボク



ウラジロノキ



カマツカ



ナナカマド



クサギ



ムラサキシキブ

サワフタギや、ムラサキシキブの青や紫の実、ヤマガシユウ、ヤマブドウの黒い実、スイカズラの対につく実は濃い緑から黒へ変化していました。

赤いガクが目立つクサギの青い実は昔から染め物に利用されたそうで、浅沼先生が染めた浅黄色のハンカチがきれいでした。



ノブドウ



ハクウンボク



アオツツラフジ

今回は果実の中の種子にも注目してみました。

コブシの赤い果実の中にはハートの種子、ホオノキの種子は意外にも炒ったコーヒー豆にそっくりでした。

黒いヤマガシユウの果実の中には真っ赤な種子、アオツツラフジの種子は、アンモナイトに見えます。

本当に不思議がいっぱい詰まっていました。



ホオノキ



ヤマガシユウ



コブシ



しらかば林間広場の横でひっそりと咲くジュウガツザクラや、リンドウの青い花、ノコンギクにも出会えました。

寒気が緩んだおかげで、アオダイショウの幼蛇が枯れ葉にまぎれて遊んでいました。体長50cmほどでしたが、幼蛇は身体の模様がとてもきれいで、参加された方も「蛇をあんなに近くで見たのは初めてだったし、きれいだった。」と今日の一番に選ばれた方もいらっしゃいました。



アオダイショウの幼蛇



アマガエルやヤマアカガエルも登場



ジュウガツザクラ

今回観察したもの

ガマズミ、ミヤマガマズミ、カンボク、ナナカマド、カマツカ、ウラジロノキ、スイカズラ、アケビ、ホオノキ、コブシ、オオバクロモジ、サンショウ、クサギ、サワフタギ、ハリギリ、ハウチワカエデ、コナラの堅果、ヨウシュヤマゴボウ、ニガクリタケ、カワラタケの仲間、ホコリタケの仲間他、キノコ色々、センボンヤリ、ノアザミ、リンドウ、ハギ、メマツヨイグサ、ヤマガシユウ、ダイコンソウ、チヂミザサ、ミズヒキ、ノブキ、ヌスビトハギ（ひつつきむし）

次回は11月19日

御所湖冬鳥観察会です。

野鳥の会もりおかの会員がご案内します。

御所湖野菊公園に9：50までに集合です。